

## 第 267 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2026 年 1 月 16 日（金）午前 10 時 00 分～11 時 14 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、久後翔太郎、小路直彦、野口貴文（委員長）（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
<p>1. 前回議事概要の確認</p> <p>2. 「積算資料」2 月号土木系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>・ 前回議事概要案が承認された。</p> <p>・ 審査対象資材のうち、2 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 30%;">＜品目＞</th> <th style="text-align: center; width: 20%;">【地区】</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">（理由）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>北陸（新潟除く）、近畿、那覇</td> <td>流通業者は仕入価格上昇分の転嫁に取り組んでいるが、年末年始を挟み商談は停滞。他地区より早く値上げを打ち出した近畿を中心とする地区では、値上げの一部が浸透し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>山形</td> <td>製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、粘り強い交渉の結果、需要者が受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>宇都宮</td> <td>製造コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、採算悪化に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砂（荒目）（細目） コンクリート用砕石</td> <td>秋田</td> <td>製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。昨年 9 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>コンクリート用砕石</td> <td>山形</td> <td>製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年 1 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン 再生クラッシュラン</td> <td>秋田</td> <td>製造コスト増加を理由にメーカー、中間処理業者は値上げを打ち出す。災害復旧に伴う河川工事や道路改修工事等で売り腰を強め、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	＜品目＞	【地区】	（理由）	<b>【上伸した資材】</b>			H形鋼	北陸（新潟除く）、近畿、那覇	流通業者は仕入価格上昇分の転嫁に取り組んでいるが、年末年始を挟み商談は停滞。他地区より早く値上げを打ち出した近畿を中心とする地区では、値上げの一部が浸透し、市況上伸。	生コンクリート	山形	製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、粘り強い交渉の結果、需要者が受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	宇都宮	製造コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、採算悪化に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。	コンクリート用砂（荒目）（細目） コンクリート用砕石	秋田	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。昨年 9 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。	コンクリート用砕石	山形	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年 1 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。	クラッシュラン 再生クラッシュラン	秋田	製造コスト増加を理由にメーカー、中間処理業者は値上げを打ち出す。災害復旧に伴う河川工事や道路改修工事等で売り腰を強め、市況上伸。
＜品目＞	【地区】	（理由）																							
<b>【上伸した資材】</b>																									
H形鋼	北陸（新潟除く）、近畿、那覇	流通業者は仕入価格上昇分の転嫁に取り組んでいるが、年末年始を挟み商談は停滞。他地区より早く値上げを打ち出した近畿を中心とする地区では、値上げの一部が浸透し、市況上伸。																							
生コンクリート	山形	製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、粘り強い交渉の結果、需要者が受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	宇都宮	製造コスト増加を理由に組合が昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、採算悪化に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、昨年 9 月に続き、市況上伸。																							
コンクリート用砂（荒目）（細目） コンクリート用砕石	秋田	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。昨年 9 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
コンクリート用砕石	山形	製造コスト増加を理由にメーカーは昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年 1 月に生コン市況が上昇した主需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。																							
クラッシュラン 再生クラッシュラン	秋田	製造コスト増加を理由にメーカー、中間処理業者は値上げを打ち出す。災害復旧に伴う河川工事や道路改修工事等で売り腰を強め、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	クラッシュラン 再生クラッシュラン	山形 製造コスト増加を理由にメーカー、中間処理業者は昨年4月より値上げを打ち出す。災害復旧に伴う河川工事や道路改修工事等で売り腰を強め、市況上伸。
	PHC パイル	九州 製造コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。物流倉庫や再開発関連工事等で需要堅調な中、安定供給を優先する需要者が受け入れ、市況上伸。
	再生加熱アスファルト混合物	水戸、宇都宮、前橋、新潟、甲府 原材料のストアス価格は依然として高値圏で推移。需要が減少する中、採算悪化に危機感を強めるメーカーは売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U形	岐阜 製造コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、採算悪化に危機感を強めるメーカーが足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U形 自由勾配側溝	福岡 原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年7月より値上げを打ち出す。他県からの流入がみられない中、徐々に値上げが浸透し、市況上伸。
	インターロッキング ブロック	東北、新潟 原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。新規工事の発注が進むにつれ価格交渉が進展して、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	RC ボックスカルバート	長野 製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。今年度下期以降、新規工事の発注に合わせて売り腰を強め、市況上伸。
	【下落した資材】 鉄スクラップ	名古屋、広島、高松 依然として国内の発生量、需要とも少なく、需給は低位で均衡している。大手電炉メーカーが購入価格を引き下げた中部、中四国では間屋筋も追随して購入価格を引き下げ、市況下落。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
<p>○軽油の国内販売量が年々減少しているようだが、理由は。</p> <p>○軽油の商流について、元売業者と販売店の間に商社などが入るのか。</p> <p>3. 「積算資料」2月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p> <p>○電線・ケーブルについて、主原料の銅が世界的に供給不足というのは、日本以外で電線・ケーブルの需要が増えているのか。</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>軽油</p>	<p>全国</p>	<p>為替はやや円安で推移したが、中東産原油価格の下落が影響し、元売卸価格は下落した。販売業者は仕入価格低下分を販売価格に反映し、市況下落。</p>
	<p>ストレートアスファルト</p>	<p>全国</p>	<p>ストアス価格算定期間内の元売原油調達価格は下落し、元売会社は卸価格を引き下げた。ディーラーは道路舗装会社との価格交渉において卸価格の変動額を反映し、市況下落。</p>
	<p>・電気自動車の普及など燃料転換が進んでいることが、軽油の国内販売量が年々減少している主な要因と考えられる。</p>		
	<p>・商社が入るケースと元売特約店が入るケースがある。商社は元売系列品以外に市場で余った分を買い取って転売する業者間転売品を扱うケースもある。</p>		
	<p>・審査対象資材のうち、2月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>		
	<p>&lt;品目&gt;</p>	<p>[地区]</p>	<p>(理由)</p>
	<p>【上申した資材】</p>		
	<p>電線・ケーブル</p>	<p>全国</p>	<p>国内電気銅建値は前月に続き急騰し、最高値を更新。販売側は銅価上昇分とコスト未転嫁分の価格転嫁に注力するも、需要者の抵抗もあり一部が浸透し、市況上伸</p>
	<p>・銅の供給不足は需要と供給の両面で原因がある。需要面では、エネルギー関連、脱炭素関連、AI データセンター建設向けなどで需要が増えている。供給面では、昨年起きたインドネシアのグラスバークの鉱山事故や主要産出国のチリ、コンゴの鉱山事故、洪水等により供給量が絞られている。</p>		
	<p>・2026年2月17日(火)15時～17時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>		

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

- 第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。
- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
  - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
  - 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

- 第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 2 委員長は、委員会を代表する。
  - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。